

3月の下旬には桜、4月の下旬には藤、今年は昨年と比較して鮮やかに咲いた印象を受けます。お散歩をするにもちょうど良く、外気浴にお誘いすることも多くなりました。また、特養の行事に合わせ、季節のレクリエーション、お食事を楽しんで頂いております。

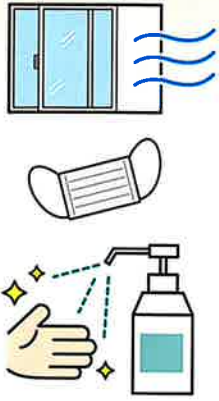
(藤本)

コロナの現況と対策

4月25日に東京・京都・大阪・兵庫を対象に出された緊急事態宣言は、5月末まで延長されることになりました。

美山ホームでは三浦市をはじめとして、官公庁及び地方医師会とも協力し感染防止に努めています。世界では感染力の強い変異種が出現し、国内でも広がりを見せるなどまだまだ予断を許さない状況です。コロナの流行が収束するまでまだ少し時間がかかりそうですが、日常の手洗い・うがいを励行し、施設外部の方々との接触機会を減らすなど、できうるだけの対策をとりながら皆で力をあわせて乗り切りましょう。

(藤田)



実施行事

- 3日 ひな祭り
- 3日 防災訓練
- 23日 仏供養会
- 31日 みんなの集い(文書回覧)
- 4日 花まつり
- 5日 端午の節句



行事予定

- 6日 開園記念日
- 7日 七夕
- 28日 土用の丑の日
- 28日 夏祭り
- 8月 終戦記念日
- 21日 中華バイキング



俳句コーナー



陽だまりに 寄り添う猫
R i (84才)
コロナ知れず

外出と 心躍るも
A i (74才)
車窓かな

中庭へ 健康維持と
A i (85才)
七回り

ペン先で コロナ吹かそう
K N (78才)
句仲間よ

モバイルサイトにアクセス!



施設長退任にあたって

感謝

昭和39年米軍の奉仕により小高い山を崩し共楽荘の初声分園として誕生したのが美山ホームの始まりです。私も主人(輝雄)と2歳8ヶ月の娘と3人で現在の地に移ってきました。周辺は田んぼで道もない状態でしたので分園の建築に当たっては地域の方々は大変お世話になったことを思い出します。

当時は32名のお年寄りとの生活で職員も義妹が調理を担当、看護婦、寮母と3人で、のどかで家庭的な生活が始まり、その時から私も手伝いするようになりました。

昭和45年になり養護老人ホームが設立された時、前駒子会長が共楽荘から分園にくる車の中で周囲にはきれいな山が多い事に気づき、新しくできる施設を美山ホームと名付けたのでした。又昭和61年、分園の跡に三浦市で初めての特別養護老人ホームが新設され、養護・特養併設の施設として職員も増員され大家族に生まれ変わりました。前々施設長(阿部好知)と共にひとつづつ事業を積み重ねながらいかに多くの御利用者様や職員の皆様とふれあひ出会ったことでしょう。時代は昭和から平成へと移り平成17年にはユニット型も併設(デイサービス、居宅事業と時代のニーズに合わせ研鑽し、地域に根ざし皆様に喜ばれる施設であるよう努めて参りましたが、光陰矢のごとし、私にとつても美山ホームは半世紀以上にわたり携わってきた思い入れの深い職場でした。

一つの仕事を長く続けられるという事は第一に健康、第二に自分の信念、第三に家族や周囲の方々の協力、そして第四には恐らく誇りの持てる職場であることが大切であると思えます。今、ここに全てに感謝して自分の健康に気を配りつつ立場を変えながらもお役に立ち続けて参りたいと存じますので今後ともよろしくお願いたします。

(前施設長 阿部ミサ子)

編集後記

昨年に引き続き今年も3月中旬には桜は満開となりましたが、生憎のコロナ禍でゆつたり花見とは参りませぬでした。また施設の行事も控え目となり少々残念に思えるこの頃ですが、いつか晴れ渡る空の下、皆で笑い合える日々が戻って来ることを信じて、共に明るく過ごして参りましょう。